

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	9
事業名	観光振興事業	会計	款	項	目
		一般	7	1	1
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	産業課		
施策	3-7 観光の振興	係名	産業振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	観光振興会等	目的 (対象がどのような状態になっているか)	観光振興会等の自主活動組織の組織体制強化を図り、観光を通して東員町を広く情報発信します。
事業内容	観光振興事業・・・観光集客ができるイベントの企画の提案・運営、特産品の開発など行える組織づくりを行い、本町の観光戦略を図ります。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
		1	特産品の登録数	15	16		品	↑	20
2	中部公園イベント数	0	1		件	↑	8		
3									
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			2,029		1,994		3,973		
財源内訳	直接事業費 A		379		344		493		
	うち一般財源		379		344		493		
人件費(千円) B			1,650		1,650		3,480		
内訳	一般職員(人・千円)		0.25	1650	0.25	1,650	0.5	3,300	
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0.1	180	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					
					コストの削減	A削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	観光誘客のための自主活動組織の強化と、中部公園を中心とした観光誘客を行うとともに、特産品認定商品等の販売促進を行う。	③取組の課題	・広域的観光施策を活用しながら、本町のPRを幅広く情報発信する必要がある ・新たな観光振興事業を検討し、観光客誘致のための取り組みが必要である。
②R4年度に実施した取り組み	観光振興会の主催により東員マルシェを開催。北伊勢広域観光推進協議会の取組で、金山駅において東員町の特産品を販売。特産品認定審査委員会において新たに6品を認定。	④今後の改善計画	・観光誘客のための自主活動組織の強化と、中部公園を中心とした観光誘客を行うとともに、特産品認定商品等の販売促進を行う。 ・西美濃・北伊勢観光サミット開催地として町をPRする。